

事前評価個表

整理番号	41
------	----

地域（地区）名	<small>えちぜん</small> 越前地域	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	福井県	対象市町村	福井市ほか10市町
事業実施期間	H23 ~ H27（5年間）	事業実施主体	県、市町、森林組合等

事業の概要・目的	<p>越前森林計画区は、福井県の北部のいわゆる嶺北地域に位置し、福井市をはじめ7市4町から構成されている。当地域の北部は石川県、東部は岐阜県に、南部は若狭森林計画区に、西部は日本海に面している。</p> <p>本計画区の森林面積は22.5万haで、総土地面積の73%を占めている。このうち民有林面積は19.3万ha（森林面積の86%）であり、スギを主とした人工林は8.7万ha（民有林面積の45%）となっている。</p> <p>また、本計画区の林道延長は1,604km、林道密度は8.3m/haとなっているほか、森林作業道も整備されている。</p> <p>現在、本計画区の人造林については、間伐対象森林（～12齢級）が6.7万ha（人工林の77%）を占め、資源が充実しつつある一方、所有規模が小さく、境界が不明確などの要因により、間伐等の森林施業が進まず、また、間伐材の搬出率も約3割と低迷している状態にある。</p> <p>このため、施業地の集約化や林内路網の整備を進め、搬出間伐等の森林施業を計画的かつ効率的に実施することにより、県産間伐材生産量の増加を図るとともに、森林の持つ多面的機能が持続的に発揮され、災害に強い健全な森林づくりを推進する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：20,100ha 人工造林、下刈り、雪起こし、枝打ち、除伐、間伐、森林作業道等</p> <p>総事業費：7,500,000千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 4.68 (総便益(B) = 65,438,045千円、総費用(C) = 13,958,897千円)</p>
評価結果	<p>必要性：森林の多面的機能の発揮や適正な保育管理の推進からみて必要である。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：間伐の遅れた林分の解消や適正な保育管理の推進は、災害に強い健全な森林づくりに有効である。</p> <p>本計画では、森林の多面的機能を発揮するために必要な森林整備が適切に計画されている。また、効率性、有効性も認められることから、森林環境保全整備事業計画として実施することが適当である。</p>

便 益 集 計 表

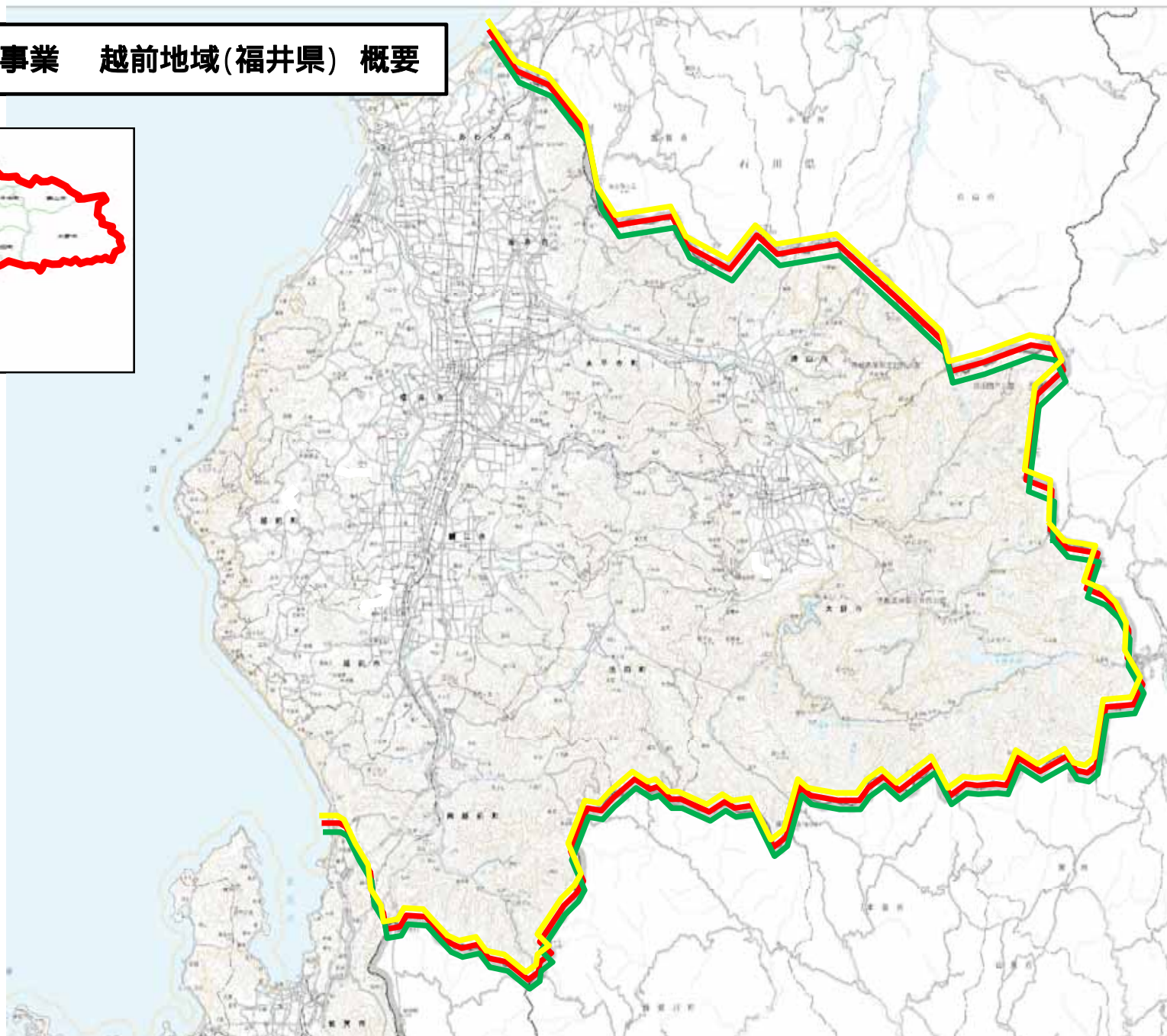
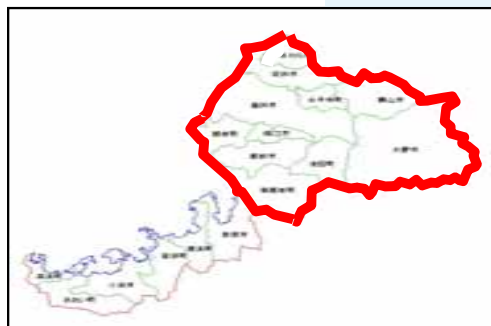
(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業
 地域名: 越前

福井県
 (単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	19,079,487	
	流域貯水便益	8,206,135	
	水質浄化便益	14,009,465	
山地保全便益	土砂流出防止便益	17,217,085	
	土砂崩壊防止便益	1,010,744	
環境保全便益	炭素固定便益	1,053,158	
木材生産便益	木材生産確保・増進便益	4,861,971	
総 便 益 (B)		65,438,045	
総 費 用 (C)		13,958,897	
費用便益比	$B \div C = \frac{65,438,045}{13,958,897} = 4.68$		

森林環境保全整備事業 越前地域(福井県) 概要



凡 例	
計画区界	—
事業区域	—
森林整備	—